

すき間の名前

星木 柳之介

ぼくは土星に行きたいです。それはなぜか
と言うと太陽けいにあるわく星の中で土星の
わくがが一番かっこいいからです。たくさん
の氷のつぶがあつまってわくがとわくがの間
にはすき間があります。「カツシーニのかん
げき」と名づけられたさい大のすき間は五千
キロもあるそうです。すき間だけでもそんな
に大きいわくががなぜできるのか、ぼくはそ
のことについてしらべたいです。

これまでに土星をしらべたたんさきのボー
ジャ、カツシーニもかい明できなかつたわ
くがのなぞをとくために、まず土星に着りく
します。次にうちゅう服を着て、き地をたて
ます。住む場所と食りようもかくほしたらき
よ大なぼう遠きようで、わくがの氷たちがど
ういう動きをするのかかんさつします。もし
へん化があつたらノートにメモします。もし
動きがながつたら、氷の数をかぞえます。大

きさや温度、長さも計りたいです。

このたんさ計画に使うぼくのうちゅう船はイカロスみたいなソーラセイルの船です。コントロール室とリビング、そして食りようや飲みものをしまったり、ねむったりするために部屋は全部で五こあります。そう庫にはあつく星で使うぼう遠きようや、き地をたてるためめざいりようが入っています。このうちゅう船にはワイプするボタンがあるので土星まで一週間で行けます。

でも何回もしらべて分からなかったので土星だけだとわっかのひみつはとけないかもしれませんが。だからぼくは土星の次に「J-4」の「b」という太陽けいの外にあるわく星に行きたいです。なぜならそのわく星は土星の二百倍の大きさを持つわっかがあるかもしれないからです。そこへ行ってそのわっかにある一番大きい「あき間」を見つけて、ぼくの名前を「けたい」です。き、とわっかが生まれ、たなぞもとけると思っています。